

2015 年 10 月に RI 理事会の決定で、**ロータリー学友の定義**が改まり、

今までロータリーの様々なプログラムを通じてロータリーを経験したことのある人を広くすべてロータリー学友と定義

されることになりました。この決定を受けて、2650 地区でもプログラム終了後も皆さんがロータリーとの絆を結び、交流を続けて頂ける場として、**新しい学友会が創立**されました。会員資格は地区内ロータリアンが紹介する者で、以下のロータリープログラムの経験者・修了者です。

- ・ インターアクトクラブ OB
- ・ ローターアクトクラブ OB
- ・ 元米山奨学生
- ・ **ロータリー財団プログラムの参加経験者**
 GSE (研究グループ交換)、VIT (職業研修チーム)、国際親善奨学生、ロータリー平和フェロー、グローバル補助金による奨学生、地区補助金の受領者、ロータリーボランティア補助金、カールP. ミラー助成金、ポリオプラス補助金、個人向け補助金、ボランティア奉仕活動補助金、大学教員のための補助金の受領者
- ・ 元 RYLA 受講生 (ライラリアン)
- ・ 元青少年交換学生

■2017 年 03 月 05 日 **設立レセプション開催**

ザ・パレスサイドホテル京都にて



2016-17 年度 刀根ガバナーの趣旨説明、担当委員長挨拶、各プログラム経験者のスピーチの後、懇親会を実施しました。また、初代役員候補を選出し、ロータリアン 70 名と、学友会のチャーターメンバー30名 合計 100 名のご参加を頂き 2650 地区として正式に学友会 (ロータリーフェローズ) を設立するレセプションを開催致しました。

■2017 年 06 月 17 日 **ロータリーフェローズ 2650 設立総会 (第 1 回総会) 開催**

京都市国際交流会館にて



設立総会では各プログラムの経験者から選出された幹事団が紹介されました。会長より議事を進行し、会則や今後の活動などを皆様に承認いただきました。これで正式に「地区学友会」が発足されました。懇親会では歌手である 2 名のロータリー財団学友より歌を披露し、ロータリーの繋がりの深さを実感しました。参加者 合計約 80 名

■2017年06月28日 RIより認証状が到着 ロータリー学友ネットワークへ加盟



- ◇地区ホームページ内に、フェローズ専用サイト開設
<http://rid2650-pub.com/dc034/>
 - ◇SNS (facebook) による広報を開始
 - ◇メールマガジンによる情報配信
- フェローズの活動を初め、各種学友会の事業やロータリーの事業のご案内などを配信しております。
- ◇「ロータリーの友」への投稿・掲載により周知を行う

■地区内への周知活動 及び第1回フォーラムのご案内



フェローズ役員初め、担当委員長と共に各プログラムの行事などに参加し積極的なPR活動を行っております。名刺サイズのPRカードも制作し、1名でも多くフェローズを知って頂くよう日々努力を続けております。各クラブ事業などでフェローズ会員も参加させて頂ける事業などがございましたらお誘い下さいませ。

■2017年10月28日 第1回フォーラム開催 龍谷大学 響都ホール校友会館にて

第1回のフォーラムとして、「世界の中の日本～東アジアの国際情勢を解説」と題して日本人国連職員の草分けで、国連大学初代事務局長でもある伊勢 桃代氏と、テレビでおなじみの龍谷大教授 李 相哲氏を迎え、大阪学院大学教授でフェローズ副会長の中野有さんのコーディネートで会場も巻き込んだ形式でのフォーラムを開催しました。伊勢先生からは国連の役割、李先生からは朝鮮半島問題を中心に、今の日本が置かれている状況をお話いただきました。これまでの東アジア情勢の流れ、我々の知らない情報などが提示され、そのようななかで、ロータリーファミリーが平和構築のために何ができるかが話し合われました。参加者からは「テレビで特集されるような内容に会場の質問も加わり、面白かった」という感想をいただきました。



東アジアの国際情勢を解説
龍谷大 響都ホールでフォーラム 28日開催

緊迫する朝鮮半島、軍拡路線を進める中国。日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増すなか、「世界の中の日本」東アジアの国際情勢を解説しと題したフォーラム(主催:ロータリーフェローズ2650)が28日午後2時半から京都市南区の龍谷大学・響都ホール(JR京都駅八条口アバンティ9階)で行われます。

日本人の国連職員の草分けで戦争と平和の問題に詳しい伊勢桃代・国連大学初代事務局長(写真右)と本紙連載の「実録 韓国のかたち」でおなじみの東アジアのエキスパート、李相哲龍谷大学教授(同左)を迎え、「国家だけでなく民間主導の平和構築は可能なのか」などをテーマに会場も巻き込んだ討論を行います。コーディネーターは中野有大阪学院大学教授。参加費無料。問い合わせは075・371・2650(国際ロータリー第2650地区ガバナー事務所)

国際ロータリー第2650地区学友会
ロータリーフェローズ2650 第1回フォーラム
2017年10月28日(土) District 2650 Rotary Fellows

【時間】 14:30~16:30 (開場13:30)
【会場】 龍谷大学 響都ホール (京都駅八条口アバンティ9階) 〒601-8003 京都市南区東九条西山王町31 TEL: (075) 671-5670

民間主導の平和構築 ロータリーファミリーとして何ができるか
テーマ「世界の中の日本～東アジアの国際情勢を解説～」

伊勢 桃代 氏
国連本部 コーディネーター・研修部長
国連大学 初代事務局長

李 相哲 氏
龍谷大学 社会学部 教授

2名のゲスト講師をお迎えし、アクティブラーニングによる参加型の講演会です。スマホでは得られない知識、会場であなたの意見が待っています。

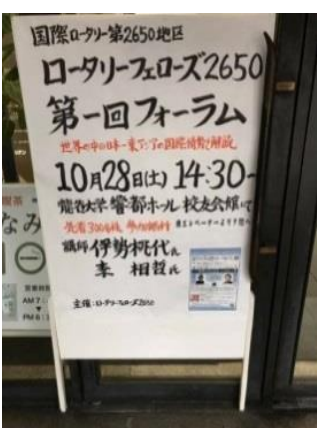
戦後72年を経た現在、敗戦国日本は、米国の同盟の恩恵を受け発展したもののアジアの中の日本のポジションは微妙である。国家が平和を構築する主役なのか？ それとも世界に120万人のメンバーで構成されるロータリー・インターナショナルのような民間主導の平和構築が可能なのか？ 国連のトップランナーとして活躍された伊勢桃代先生と東アジアのエキスパートとしてテレビの解説者として注目されている龍谷大学の李相哲先生と「ロータリーファミリーとして何ができるか」について共に語り合います。

コーディネーター: 大阪学院大学 経営学部 教授(ロータリーフェローズ2650 副会長) 中野 有

300名 (参加無料) 事前登録制

- 参加対象者
 - ロータリーフェローズ2650 会員 (参加費無料)
 - プログラム関係者 (現役/元、ロータリー、青少年交換学生、米山奨学生大歓迎!)
 - ロータリークラブ会員
- 登録方法
 - 専用のURLよりWEB登録をお願いします(登録URL裏面をご確認ください)

【お問い合わせ先】 ロータリーフェローズ2650事務局 国際ロータリー第2650地区ガバナー事務所
e-mail: rotaryfellows@rid2650.gr.jp
facebook ページ 「ロータリーフェローズ2650」 fb.me/RotaryFellows2650
地区ホームページ <http://rid2650-pub.com/dc034/>
主催: ロータリーフェローズ2650



中野副会長がコーディネーターを務め、開場からの意見も伺い参加型の講演会として行いました

■2017年11月11日・12日 日本ロータリー学友会 全国総会に参加

神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて

◇国際ロータリー本部より、学友担当のスペシャリストであるビル・リンツ氏が来日し、世界の学友事情をやロータリーの6つの重点分野の紹介と活躍の学友の紹介がありました。
 【○平和と紛争予防 / 紛争解決 ○疾病予防と治療 ○水と衛生設備 ○母子の健康 ○基本的教育と識字率向上 ○経済と地域社会の発展】
 しかし、課題としては今までの国際親善奨学生ではなく、グローバル補助金及び地区補助金になってから音楽、芸術分野での奨学生を出すことが困難になっている現状があるなど非常に勉強になりました。2650地区としても新しい定義のフェローズと財団学友の結びつきをもっと深めたいと思いました。



◇NPO 法人 FutureCode 大類隼人氏の講演・・・兵庫の財団学友で国際医療支援活動を行っておられる臨場感ある講演に感動致しました 世界で活躍する財団学友のお一人です

◇テーブルディスカッション各地区の学友の問題点等を話し合い

各地区の学友会は主に財団学友が中心で、ロータリーフェローズ 2650 のような新しい定義での学友会は少ないが、全国的にはこれから新しい定義での学友会を発足する傾向にある。ロータリーフェローズ 2650 としても全国的にPRすることができました。また当地区としては今までバラバラで活動していた各学友会と連携してフェローズとしてしっかりした活動ができるように努力しなければいけない。

■2017年11月14日 国際ロータリー本部 ビル・リンツ氏とラジオ出演

11/11に開催された全国ロータリー学友会の総会の後、国際ロータリー本部のビル・リンツ氏に京都へお越し頂きました。その後NPO京都コミュニティ放送 京都三条ラジオカフェに出演頂きました。またフェローズ会員と共にフェローズの紹介を致しました。その後は担当委員長と役員会で交流を行い、RI本部との強いパイプを結びました。



2017-11-140A 第507回 国際ロータリー世界本部Bill Rintz さんと語る

■フェローズのPR強化活動を実施



「第2回青少年奉仕担当者会議」
2018.1.20 永井菜里会員



「会員増強アクション会議」
2018.3.4 山崎功昭会長



「インターアクト地区大会」
2017.10.21 山崎功昭会長



「インターアクト顧問会議」
2018.02.25 永井政樹幹事



「会長エレクト研修セミナー」
2018.3.18 吉岡毅副幹事



その他、各種RA事業や RLYA などでもPRを実施

投稿者：ロータリーフェローズ2650 副幹事 吉岡 毅

(IA学友、RYLA学友、現 奈良RAC会長)

六月一七日、当地区学友会（通称、ロータリーフェローズ2650）の設立総会を、学友とロータリアン、総勢約一〇〇人で開催しました。

総会では会則の説明、役員決定、今後の活動について協議し、交流会ではプロ歌手の学友二人による歌で和みました。久しぶりにロータリーの会合に顔を出し懐かしむ学友、今回が新しい出会いとなり、名刺を交換し合う光景などが見られ、今後の活動が楽しみにになりました。

元地区ロータリーアクト代表で京都西RAC会員の山崎功昭学友会会長は「プログラム経験者とロータリアンとの関わりは、その期間中は密接なものであったと思いますが、修了後、その関わりを継続する機会を持つことが難しい状況でした。しかし、プログラム経験者はロータリアンにとって大切な家族。この絆をこれからも継続して結んでいきたい願いと、プログラムの垣根を超えた幅広い世代との交流によって、新たなご縁をつないでいただきたい思いが重なり合い、生まれたのがロータリーフェローズ2650です」とあいさつ。

二〇一四年、ロータリー学友の定義が変わったことに則し、当地区の学友会もこのたび、新しい顔ぶれを迎えました。会員の中には、高校を卒業したばかりのインターアクトクラブOBから現在、大学の教授や国内外で活躍中の元ロータリー財団国際親善奨学生まで、世代・国

ロータリーフェローズ2650始動!

奈良RAC 吉岡 毅

籍を問わず、さまざまなプログラム経験者がいます。

六月二八日付で、国際ロータリー（RI）からは認証状を受けました。今後、学友会会員はフェローズ主催事業への参加に加え、ロータリークラブから案内される奉仕プロジェクトに参加したり、ロータリーアクトクラブの例会に出席するなど、ロータリーと関わっていく予定です。登録学友会員へはメールの情報配信を基本とし、地区ホームページ (http://2650-pub.com/drc034) とフェイスブック (facebook.com/RotaryFellows2650) も活用して、始動しました。

一〇月二八日には京都で、国連ニューヨーク本部元人事・研修部長の伊勢桃代氏、李相哲龍谷大学教授を迎え、参加型のフォーラムを開催。今後の企画も目白押しです。



新生ロータリーフェローズ、懐かしい顔と新しい出会い

(第二六五〇地区 奈良県)

日本ロータリー学友会第7回総会 ロータリーフェローズ永井幹事 吉岡副幹事 参加

Rotary Alumni Reconnect

日本ロータリー学友会第7回総会 in 神戸 継続的な活動を目指すために

日本ロータリー学友会代表幹事 高木 直之 (かながわ湘南RC)

2017年11月11～12日、国内のロータリー財団学友会が連合し、結成された日本ロータリー学友会の第7回総会が、神戸で開催されました。福岡県博多に続き2度目となる、東京都以外での開催です。国際ロータリー（RI）理事エレクトの三木明氏、ロータリー財団地域コーディネーター第3ゾーン担当の村上有司氏、第2680地区ガバナーの瀧川好庸氏をはじめ、今回も多くの方にご出席をいただき、全国20地区から集まった学友が課題や将来について語り合いました。



今回のゲストスピーカーは2人。RI職員のビル・リンツ氏は、「最近の学友事情」をテーマに、世界の学友の状況を堪能な日本語で発表。世界で活躍する学友の姿を見ることができ勇気づけられました。もう一人は第2680地区のグローバル補助金による奨学生としてロンドン大学リーズ大学院に留学した大類準人氏で、自らが設立した認定NPO法人Future Code (<http://www.future-code.org/>)での活動を紹介しました。ハイチ、ブルキナファソ、バングラデシュで、経済的自立を支援しながら医療を提供する活動と、それを支えてきた大類氏の行動力に、一同心を打たれました。彼のような奨学生を世界に送り出したことは、ロータリアンの誇りだと思います。

ディスカッションではいずれの学友会も学友名簿の維持・管理が最大の懸案事項であることが分かりました。多くの学友を送り出してきたにもかかわらず、名簿が不完全なために活動が停滞している学友会もあります。学友はロータリーが送り出した人材の宝庫です。学友との縁を絶やさないためにも、名簿の整理ができればと感じました。

「学友をロータリーに」というロータリアンの願いはもっともですが、あまりにも強引な入会勧誘や、学友クラブ創立の要求が、かえって学友のロータリー離れを招



いてしまった例もいくつか報告されています。若い学友の場合、まずは自分の生活を確立できてこそ、超我の奉仕を実践することができます。個人的な話になりますが、私はアメリカのカウンセラーの姿を見て、「自分もいずれはこのように生きたい」と思い、日本初の学友クラブであるかながわ湘南ロータリークラブ（RC）の創立会長を引き受けましたが、当時は42歳でした。せめて40歳を超えるまでは、ロータリーとの縁を絶やさず、見守ってほしいと思います。

学友会活動の継続には、参加してよかったと思ってもらえるプログラムが肝要です。今回の総会ではゾーン単位で近隣の学友会が集まり、将来の協力関係についても議論しました。第2590地区・2780地区のように、かつて同一の地区であった縁から、共同の新奨学生壮行会や学友同士の懇親会などを開催しているところもあります。地区を超える活動も実施されていくことでしょう。

今年度から日本ロータリー学友会のかじ取りは、東京のロータリー財団学友会組織であるロータリーフェローズ東京の田中栄次郎氏（東京RC）から、兵庫学友会の松下衛会長（神戸東RC）に引き継がれました。

松下会長あいさつの際にスクリーンに映し出されたのは、1970年の留学時から今まで親交が続いているカウンセラー夫人です。会長が一昨年、カナダの自宅を訪れた際の写真でした。これは、ロータリー財団奨学金制度の本質を見るための演出。彼は現状把握するために各地区の学友会の総会には可能な限り出席したいとのこと。茨城（第2820地区）、埼玉（第2770地区）、大阪（第2660地区）などにも足を運んでいるそうです。各地区のロータリー財団学友関係の方々、学友会総会開催の時などにはどうぞ声をかけてください。

(第2780地区 神奈川県)

ロータリーボイス～世界で行動する人びとの体験談とストーリー

「日本の学友たちとの出会い」 稿日:2017年12月14日掲載

By ビル・リンツ (国際ロータリー、学友担当)

<https://rotaryblogja.wordpress.com/2017/12/14/>

先日私は、日本の複数のロータリー地区を訪問し、とても素晴らしいロータリーファミリー(クラシック音楽家、社会福祉士、教師、建築家、教授、ビジネスリーダー、若い職業人など)に出会うことができました。みな経歴は異なりますが、全員が「ロータリー学友」で、学友であることを誇りに感じていました。

「学友」とは？

ロータリーの学友とは、ロータリー財団または米山記念奨学金の奨学生、青少年交換、ローターアクト、インターアクト、RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)の元参加者です。これらの学友は、地域社会への奉仕活動にも熱心に取り組んでいます。日本には、学友同士のつながりや、学友とロータリーのつながりをサポートする学友会のネットワークがあり、非常に活発に活動しています。

日本の学友会

今回の日本への出張で感じたことは、2つとして同じ学友会はないということです。最初の訪問地は、全国ロータリー学友会が第7回年次大会を開催した神戸でした。日本全国のロータリー財団学友が集い、元奨学生やGSEメンバーによる強い絆が感じられ、才能豊かな音楽分野の学友による演奏も聴くことができました。財団学友会は、地区内で新奨学生に対するオリエンテーションや帰国学友のための同窓会を開催したり、自分たちの人生に大きなインパクトをもたらしたプログラムを熱心に支援しています。第2660地区(大阪)や**第2650地区の学友会は比較的新しいですが、さまざまなロータリープログラムの元参加者がおり、エネルギッシュで情熱的な学友が集まっています。ここでは、ロータリー財団について地元ラジオで話すという貴重な経験もさせていただきました。このラジオ番組のパーソナリティは元国際親善奨学生で、行動を通じてロータリーに恩返しをしたいことや、地区内外でロータリーの使命を推進してきたことなどを話してくださいました。**



ロータリーフェローズ2650の活動についても掲載されました

日本では米山学友会もほぼすべての地区にあり、とても活発です。海外とのつながりを生かし、日本のクラブによる国際奉仕プロジェクトのパートナー探しを支援することもあるそうです。第2620地区米山学友会は現在、スリランカの米山学友会とのパートナーシップを通じ、医療機器の寄贈プロジェクトを実施しています。

学友会は学友を活動のパートナーとして認識してくれるロータリアンからのサポートがあってこそ、充実した活動ができます。また、学友はロータリーに対する感謝の気持ちがあり、ロータリーに恩返しをしたいと願っています。学友が恩返しの第一歩を踏み出せるよう、ぜひ学友に声をかけてください。

このように、いずれの学友会も実に素晴らしい活動をしています。財団学友、米山学友も含め、すべての学友がロータリーファミリーにとって大切な存在です。**そして学友の皆さんは、ロータリアンからの引き続きのサポートと、一緒に活動する機会を求めています。**

まずは学友に声をかけてみましょう

神戸を訪問した際、明石海峡大橋を見学しました。橋を眺めながら、ロータリー学友の価値について考えました。そしてこの「橋」こそ、学友を完璧に象徴しているのではないかと感じました。つまり、ロータリー学友は、日本と海外、ロータリーと地域社会、現プログラム参加者が今後もロータリーとのつながりを保つための「懸け橋」ではないかと感じたのです。



■2018年1月28日 第10回全国RYLA研究会

RYLA全国研究会が今年度は神戸で開催されました。RYLA学友（ライリアン）もフェローズの会員対象であり、この度、研究会に参加し視察を行いました。



■2018年4月8日 地区大会 参加

今年度より地区大会 青少年フォーラム・本大会にもご招待を頂き、本日、学友メンバーも参加させて頂いております。

■2018年4月22日 ロータリーフェローズ東京 創立50周年記念大会 視察予定

ロータリーフェローズ東京は財団学友会の組織であり

2015-16 Rotary Alumni Association of the Year Award（最優秀学友会賞）を受賞されました。

近い将来、**ロータリーフェローズ2650も最優秀学友会賞を目指します。**

ロータリーフェローズ東京は、日本から最初のロータリー国際親善奨学生として1950年に米国に派遣された故清水長一氏を初代会長として、1967年（昭和42年）に創立されました。清水会長に続く1951年に米国に派遣された緒方貞子さんをはじめ、現在では300名以上の会員を持つ日本最大の学友会となりました。また、過去48年にわたる学友会活動が評価され、2016年には韓国ソウルでのロータリー国際大会において「世界でもっとも優れた学友会」として国際ロータリー会長から表彰されました。



■2018年6月3日 ロータリーフェローズ2650 総会並びに交流会を開催

日時：**2018年6月3日（日）** 受付開始 15:30～ 開会 16:00 終了予定 19:30

場所：**京都商工会議所**（京都市営地下鉄「丸太町駅」6番出口すぐ）

京都市中京区烏丸通夷川上ル TEL：075-212-6400

登録料： ロータリアン 4,000円／20歳以上の学友・プログラム参加者 お一人2,500円

未成年の学友・プログラム参加者 お一人2,000円（当日拝受）

- 対象者：
- ・ ロータリークラブ会員（会長・幹事・担当委員長に限らずご興味のある方どなた様でも）
 - ・ 地区学友対象者でフェローズの会員登録ができていない学友
 - ・ 現役プログラム参加者（インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、米山奨学生）
 - ・ ロータリーフェローズ2650会員（地区学友 登録者）

詳細は追ってご案内させていただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております